



畜産総合センターようじん通信

平成31年2月

◇譲渡可能頭数について

W♀

生まれ月	頭数
6月	9
7月	11
8月	30
9月	34
10月	24

D♂

生まれ月	精液検査 済み(頭)	精液検査 未実施(頭)
4月	5	0
5月	4	1
6月	7	16
7月	1	9
8月	0	12
9月	0	2

2月4日時点の譲渡可能頭数は上記のとおりです。他の品種もご用意できます。
現在、譲渡待ちはなく、希望順に譲渡しておりますので、早めにご連絡いただければ幸いです。

○当所の豚コレラ対策について

前回ご紹介した当所の対策について、実施状況を報告します。今後も同様の対策を継続するほか、発生状況等を勘案しながら段階的に強化対策を施すこととしました。具体的な対策については、その都度迅速にお知らせします。

① 電気牧柵等の設置

- ・豚舎エリア外周をフェンス（ワイヤメッシュ）で囲い、さらにその外周に電気牧柵を設置。
- ・柵等の不備の有無及び野生動物の警戒を促すため、豚舎エリア外周を定期的に巡回。



② 飼養衛生管理状況の定期確認

- ・農林水産省が示した「飼養衛生管理基準のチェック表」を基に、職員及び飼料搬入業者等の来場者が行う洗浄・消毒及び長靴・衣服交換等の実施状況等や、野生動物侵入防止策の不備（雑草等による電気牧柵漏電、柵の破損、小動物侵入孔等）がないかを、週1回確認。

※チェック表：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

③ モニタリング検査

1月23日に第1回目の検査を行いました。結果は以下のとおりです。

豚コレラ遺伝子検査（血液）10頭分プール検体 **陰性**

※本検査は今後毎月実施します。

○農業総合試験場におけるデュロック種系統造成について

農業総合試験場から現状報告がありましたので御紹介します。完成まであと4年を予定していますが、将来の希望となれるよう、引き続きご意見等頂ければ幸いです。

1 開発について

現在、農業総合試験場では2016年度より開始したデュロック種系統豚の開発を行っております。目標としてアイリスナガラの良さを生かしながら産肉性に優れ、適度な脂肪を含有するデュロック種系統豚を目指しています。完成は2022年の秋の予定です。

2 育種目標

完成時の目標は以下のとおりです。筋肉内脂肪について暫定目標値としておりますが、今年度中に改良状況を鑑みて目標値を定める予定です。

項目	目標値	備考
1日平均増体重	1,020g以上 ¹⁾	体重30~105kg
背脂肪厚	1.6cm ¹⁾	体重105kg時・体長1/2
ロース断面積	40cm ² ¹⁾	体重105kg時・体長1/2
筋肉内脂肪	6% (暫定値) ²⁾	体重110kg時・第五胸椎ロース芯

1) 雄 2) 調査豚平均

3 改良状況について

2016年に導入した種豚から生まれた産子を基礎豚(第0世代)として、現在、第1世代豚の選抜・交配を終えました。種豚の能力の改良状況は以下の表のとおりです。この他、種豚として相応しい体型での選抜や雄の精液性状の確認等も行っています。

	1日平均増体重 (g/日)	背脂肪厚 (cm)	ロース断面積 (cm ²)	筋肉内脂肪含量 (%)
第0世代	894	1.6	34	3.4
第1世代	967	1.7	40	4.1
アイリスナガラ	1,016	1.9	40	3.8



この春に第2世代が生まれてくる予定です!

発行 : 畜産総合センター
0564-21-0201